日本キリスト教団 東金教会〔１〕

２０１８年１月７日降誕節第２主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	森川里恵	
奏楽	中王	
受付	井上	
案内	土屋	
名札	五木田	
礼拝	石丸	
感謝	〃	
祈祷	〃	
前奏	中里	
讃美歌	354	一同
信仰告白		〃
交読文	6	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書	ヨハネ福音書15：1～5	司会者
祈祷		森川
新聖歌	355	一同
み言葉の伝え		中村
［繋がれて生きる］		
讃美歌	294	
聖餐式	配餐……	土屋
		岡村
	祈祷……	藤田
		岡村
讃美歌	355	一同
献金		
礼拝感謝		五木田
〃　〃		石丸
報告		森川
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		中村
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　1月10日(水)午後7時半～
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会　1月14日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　1月14日(日)10:25-10:30

【報告】

☆新年おめでとうございます。主の年の２０１８年が明けそめ、新たな心を抱いての船出です。自分の思い、自分の力によってでなく、主にある信仰の力によって生きる一年としたいものです。

☆2017年12月の献金報告が週報棚に入っております。ご覧下さい。尚、クリスマス献金報告は後日とさせて頂きます。

☆１月９日(火)幼稚園第３学期が始業致します。ご加祷下さい。

☆会堂の掃除当番奉仕者を求めております(既に１名のお申出は頂きましたが、出来ればもうお一人と願っております)。宜しくお願いします。

☆１月２１日は教会交わり会及び教会学校新年お楽しみ会、２８日は教会清掃日となっております。御覚え下さい。

【定期長老会報告】

日時…2017.12.10　場所…教会事務室
出席…中村牧師　朴牧師　森川　(書記)
岡村　安延　藤本　土屋
議事…①于　姉の洗礼諮問会及び受洗日の件　②納骨ケース制作費見積の件　③第２会堂前のアプローチ施行工事を森川　兄に依頼する件　④教会・幼・保行事報告の件(12/7,1/3祈祷会休会 12/29-1/3幼・保休園日 1/9幼始業 1/21CS 新年お楽しみ会 1/28教会清掃日 1/30東総分区牧師会一於・長生教会　⑤その他・按手式を教区に代わり千葉支区において為すことの理由説明を中村牧師より受けた。

【洗礼試問会変更報告】

日時…12月17日
議事…洗礼試問会の開催変更(12月17日より12月24日に変更)の件。

【分区・支区報告】

1/9(火)17:30-　支区常任委員会　於・西千葉
1/12(金)16:00-　長期宣教委員会　於・西千葉
1/30(火)10:30-　東総分区牧師会　於・長生

【１月７日～１３日の誕生者】

○岡部　姉　○アハマード・　兄　○崔　姉
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(12/31)	16	21	37
聖研祈祷会(1/3)			
聖書輪読会(12/31)	2	3	5
教会学校(12/31)	5	4	9

早天祈祷会			
日	男	女	計
1/1			
1/2			
1/3			
1/4	1	2	3
1/5	1	2	3

主日礼拝献金(12/31)……３９，７００円
教会学校献金(12/31)……６，６００円

【今日のメッセージ】

題　［繋がれて生きる］
聖　書　ヨハネ福音書１５:1～5

1・まことの木に繋がって

2・剪定する神

3・ことごとく願いを持って

【次週(１月１４日)礼拝案内】

題　『よろこびの心を持って』
聖　書　フィリピ書１：１～５
交読文　1
讃美歌　１番　３２４番
新聖歌　２８４番

【次週(１月１４日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	中村
司式者	宮部
奏楽者	中波
受付者	阿田
案内者	寺保
名札当番	戸延
礼拝感謝祈祷	武部
〃　〃	児山
csお話し	安部
会堂清掃者	岡波
〃　〃	深
花係	岡
看板書き	戸

【聖書から】

神は、わたしの福音すなわちイエス・キリストについての宣教によって、あなたがたを強めることが御出来になります。

ローマ書一六章二五節

ローマの信徒への手紙も一年四月余の学びを過ぎ、今、終結を迎える。パウロはこの時に際し、多くの同信の共の名を挙げている。今ローマにいる旧知の友、又、いまコリントにあるパウロと共に福音を携え、懸命に命の言葉を伝えようとしている同労の者、これらは皆福音の鎖に繋がれている仲間である。そして彼らは一丸となって神の国を目指す者なのである。パウロはこのように彼らを繋ぎ止めている福音について「わたしの福音」と言っている。聖書を通して語られる神の言葉は「福音」Ⅱよきおとずれ、なのである。パウロはこの福音のために幾度危機に陥った事であろう。幾度嘆き、幾度苦しんだ事であろう。神の福音を己の胸に抱いたこと故の苦しみである。いっそのことこのような苦しみをもたらす神の言葉など、打ち捨ててしまえばこんな楽なことはない、と思えるような重荷の言葉である。けれどもこの神の言葉はパウロにとって「わたしの福音」と言い切ることのできた神の言葉であった。苦しみでなくよろこびの言葉であり、このことの故にもたらされる厄災などはものともしない命に満ちた言葉であった。そしてこの言葉を一つにして共に生きる者たちにとってもこの神の言葉は命の言葉であったのである。パウロを取り巻く群はこの命の言葉の下、一つ一つと数を増やし、「わたしの福音」と言い切ることのできた神の言葉であり、このことの故にもたらされる厄災などはものともしない命に満ちた言葉であった。そしてこの言葉を一つにして共に生きる者たちにとってもこの神の言葉は命の言葉であったのである。パウロを取り巻く群はこの命の言葉の下、一つ一つと数を増やし、今や世界に満ちる神の言葉となった。しかしこのように福音が拡大されていった時、そこで問われるのは、この言葉はいまも命を持つ言葉かということである。神の言葉はいまも命を持つ言葉かということである。神の言葉の命が燃え尽きたのではないか、命を受け継いだ私達がその命を本当に受け継いでいるか、文字だけの言葉でなく、そこに宿された命の力に私達自身が本当に燃やされ続けているかが問われる。「わたしの福音」となることを願うのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。